

平成 29 年度

美濃加茂市水道事業会計決算概要

1. 業務状況

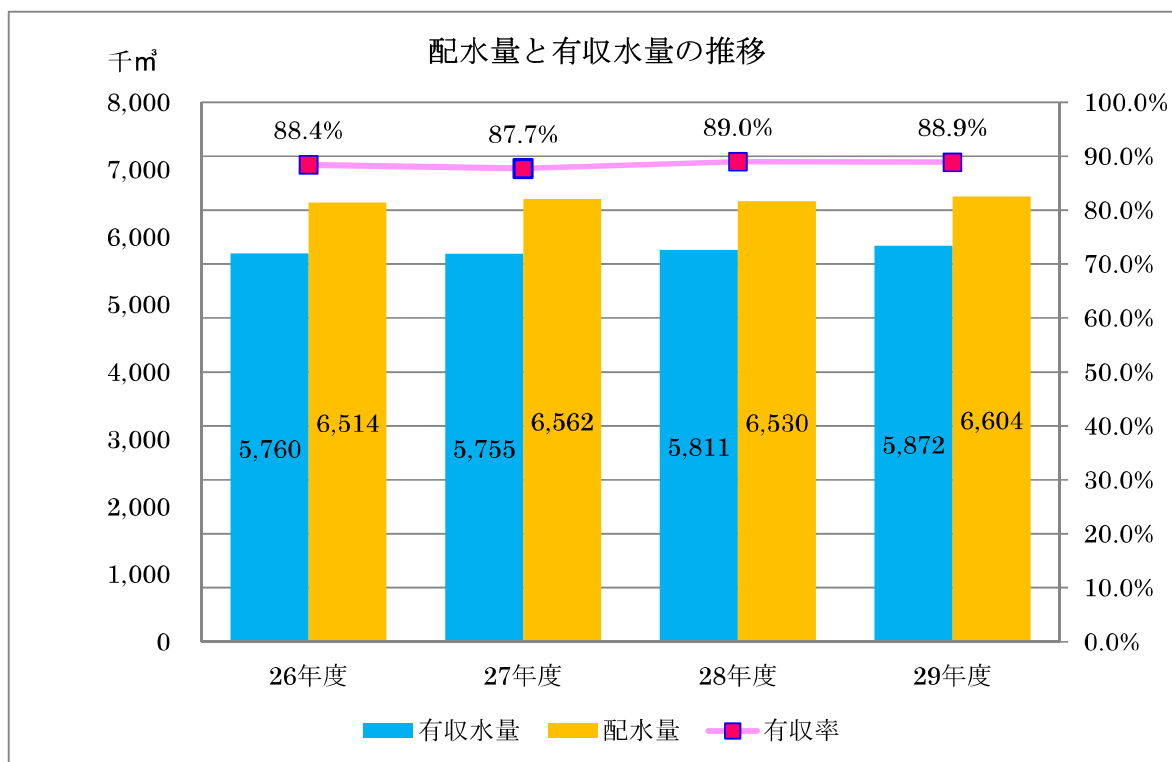
水道は、市民が安心・安全に生活していくうえで欠かすことのできない施設であり、安定的かつ継続的に供給する重要な役割を担っています。

当市の水道は、昭和 33 年に給水を開始して以来、拡張事業を重ねながら生活環境の向上や産業の発展を支えてきました。

平成 29 年度末における給水人口は 56,296 人となり、普及率は 99.35%でした。

また、年間配水量 6,604,359 m³に対し、使用料算定の対象となった有収水量は 5,872,395 m³となり、有収率は 88.92%でした。

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
① 行政区域内人口	55,391 人	55,951 人	56,293 人	56,665 人
② 給水人口	54,908 人	55,476 人	55,962 人	56,296 人
③ 給水件数	16,502 件	16,702 件	16,903 件	17,160 件
④ 普及率 (②／①)	99.13%	99.15%	99.41%	99.35%
⑤ 年間配水量	6,514,376 m ³	6,561,938 m ³	6,530,334 m ³	6,604,359 m ³
⑥ 年間有収水量	5,759,561 m ³	5,755,176 m ³	5,811,411 m ³	5,872,395 m ³
⑦ 有収率 (⑥／⑤)	88.41%	87.71%	88.99%	88.92%

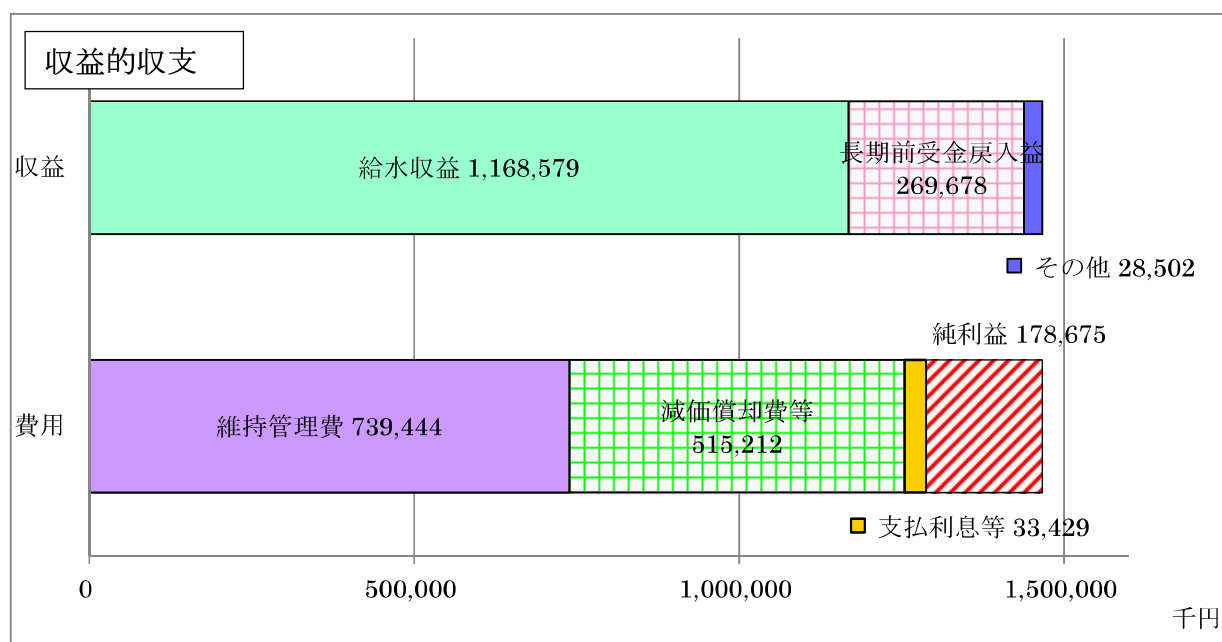


2. 決算状況

水道事業会計は、施設の運転・管理など水道事業の経営活動によって生じる収益的収支と、水道施設の整備・改修などの建設事業に必要な資本的収支に分かれています。

収益的収支(税抜)は、水道事業収益が 1,466,759,442 円(1.53%増)、水道事業費用が 1,288,084,409 円(6.37%増)となり、当年度純利益は 178,675,033 円となりました。

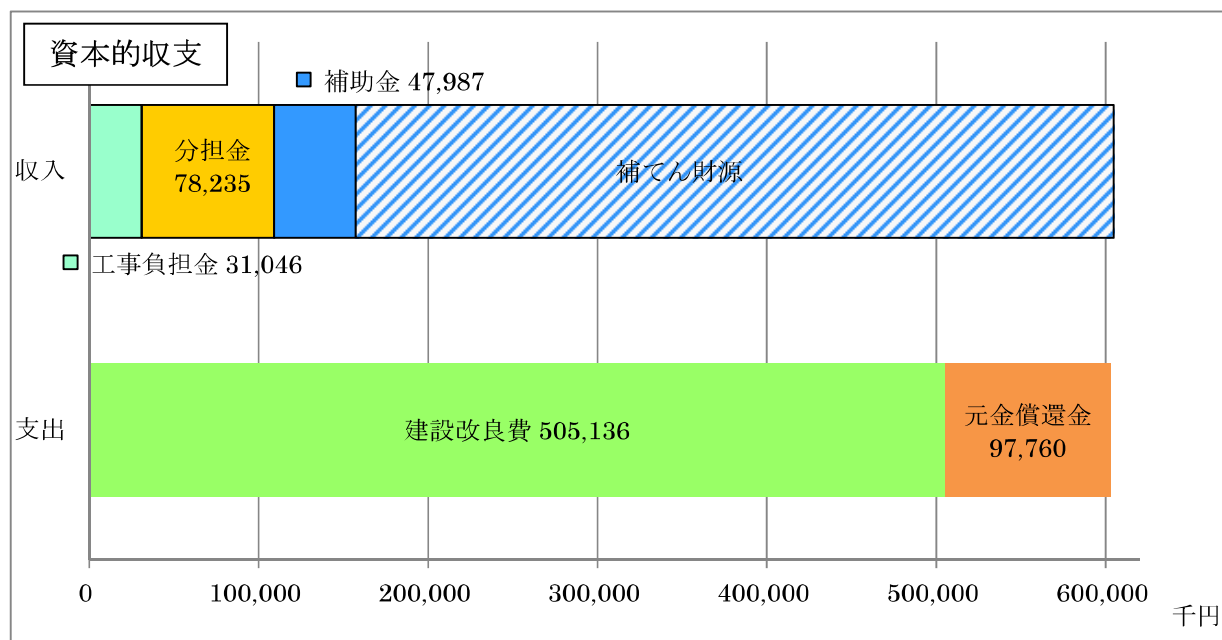
項目	平成 29 年度決算額	平成 28 年度決算額	比較増減	増減率
給水収益	1,168,579,361 円	1,156,273,910 円	12,305,451 円	1.06%
受託工事収益	3,295,722 円	4,154,880 円	△859,158 円	△20.68%
その他営業収益	21,211,908 円	24,306,436 円	△3,094,528 円	△12.73%
受取利息及び配当金	2,483,436 円	3,977,474 円	△1,494,038 円	△37.56%
長期前受金戻入益	269,677,592 円	254,779,067 円	14,898,525 円	5.85%
雑収益	1,511,423 円	1,117,008 円	394,415 円	35.31%
収益合計	1,466,759,442 円	1,444,608,775 円	22,150,667 円	1.53%
維持管理費	739,443,538 円	722,026,195 円	17,417,343 円	2.41%
減価償却費等	515,212,337 円	454,264,329 円	60,948,008 円	13.42%
受託工事費	3,295,722 円	4,154,880 円	△859,158 円	△20.68%
支払利息	26,151,420 円	28,765,409 円	△2,613,989 円	△9.09%
雑支出	3,981,392 円	1,765,729 円	2,215,663 円	125.48%
費用合計	1,288,084,409 円	1,210,976,542 円	77,107,867 円	6.37%
当年度純利益	178,675,033 円	233,632,233 円	54,957,200 円	△23.52%



資本的収支（税込）は、資本的収入が 157,268,126 円（37.93%増）、資本的支出が 602,895,837 円（1.75%増）となりました。

なお、資本的収入額（翌年度の支出の財源に充当する額 1,797,781 円を除く）が資本的支出額に対し不足する額 447,425,492 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 27,545,133 円、減債積立金 97,759,526 円、過年度分損益勘定留保資金 321,927,480 円、繰越工事資金 193,353 円で補てんしました。

項目	平成 29 年度決算額	平成 28 年度決算額	比較増減	増減率
工事負担金	31,045,926 円	21,695,830 円	9,350,096 円	43.10%
分担金	78,235,200 円	74,846,800 円	3,388,400 円	4.53%
補助金	47,987,000 円	17,476,000 円	30,511,000 円	174.59%
資本的収入合計	157,268,126 円	114,018,630 円	43,249,496 円	37.93%
建設改良費	505,136,311 円	494,524,724 円	10,611,587 円	2.15%
企業債償還金	97,759,526 円	98,022,825 円	△263,299 円	0.27%
資本的支出合計	602,895,837 円	592,547,549 円	10,348,288 円	1.75%
翌年度支出の財源	1,797,781 円	193,353 円	1,604,428	829.79%
資本的収支不足額	447,425,492 円	478,722,272 円	△31,296,780 円	△6.54%

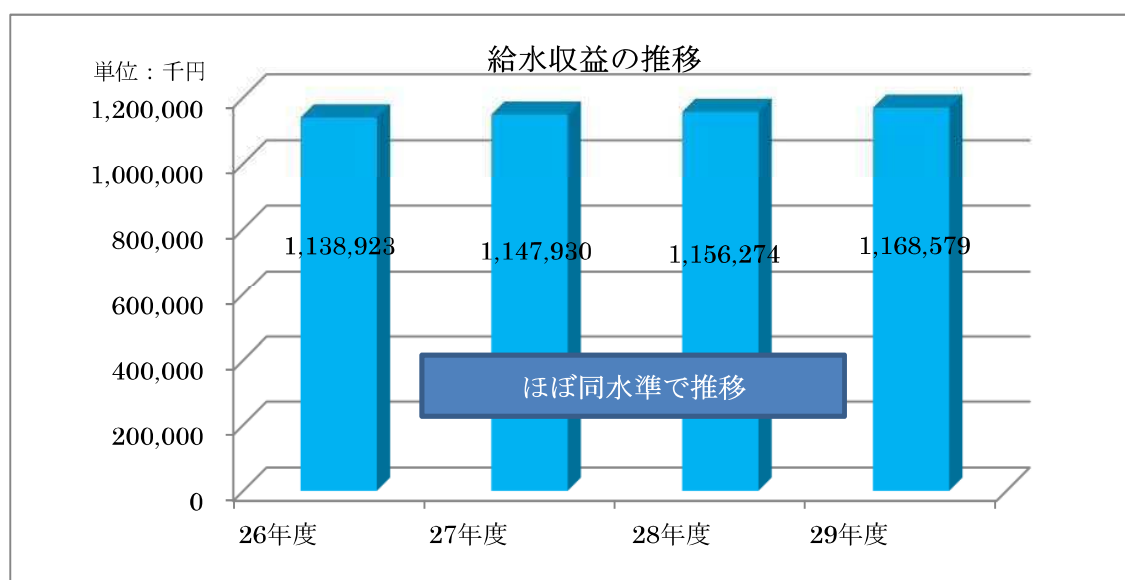


3. 経営の状況

(1) 給与収益

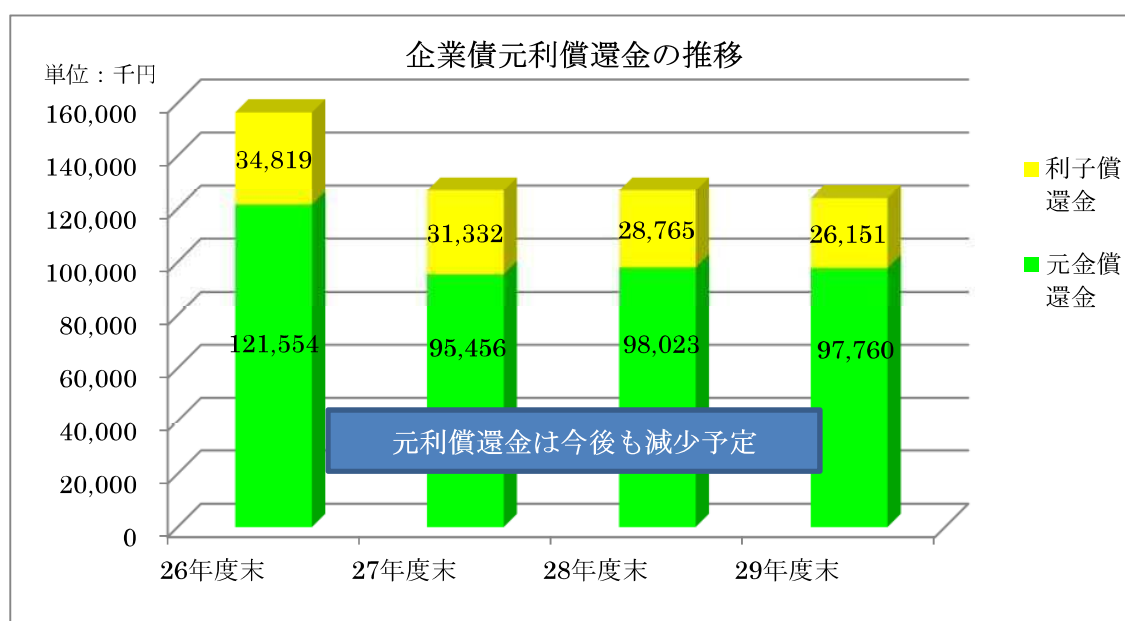
給与収益は 1,168,579,361 円となり、前年度と比較して 12,305,451 円 (1.06%) 増加しました。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
給与収益	1,138,923 千円	1,147,930 千円	1,156,274 千円	1,168,579 千円



(2) 企業債元利償還金

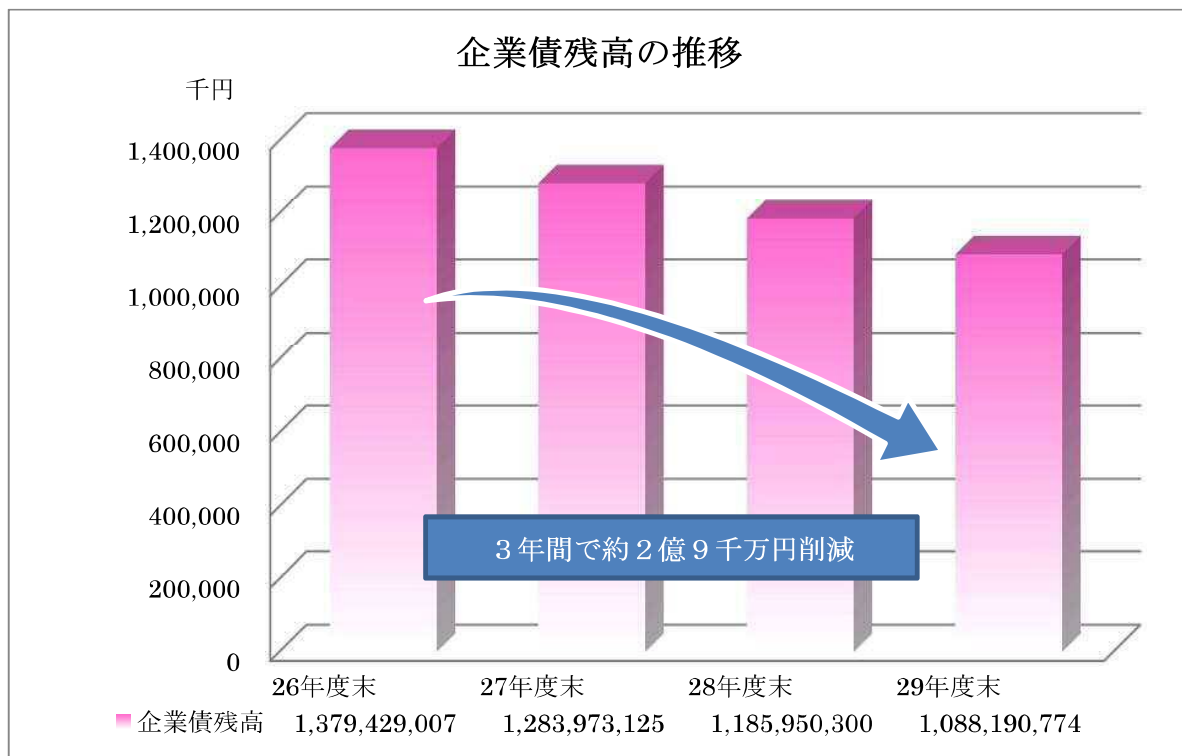
企業債の元利償還金は 123,910,946 円となり前年度と比較して 2,877,288 円 (2.27%) 減少しました。平成 21 年度以降は企業債の借入を行っておらず、順次満期を迎えていくため、今後も元利償還額は減少していく予定です。



(3) 企業債残高

企業債は、元金償還を 97,759,526 円行い、年度末残高は 1,088,190,774 円となりました。

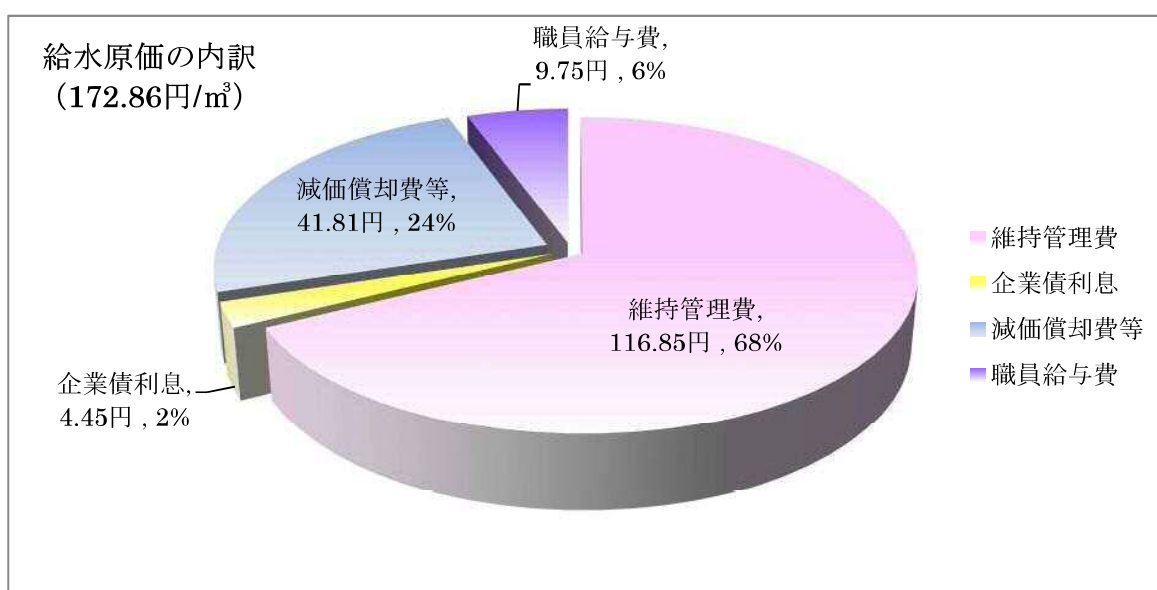
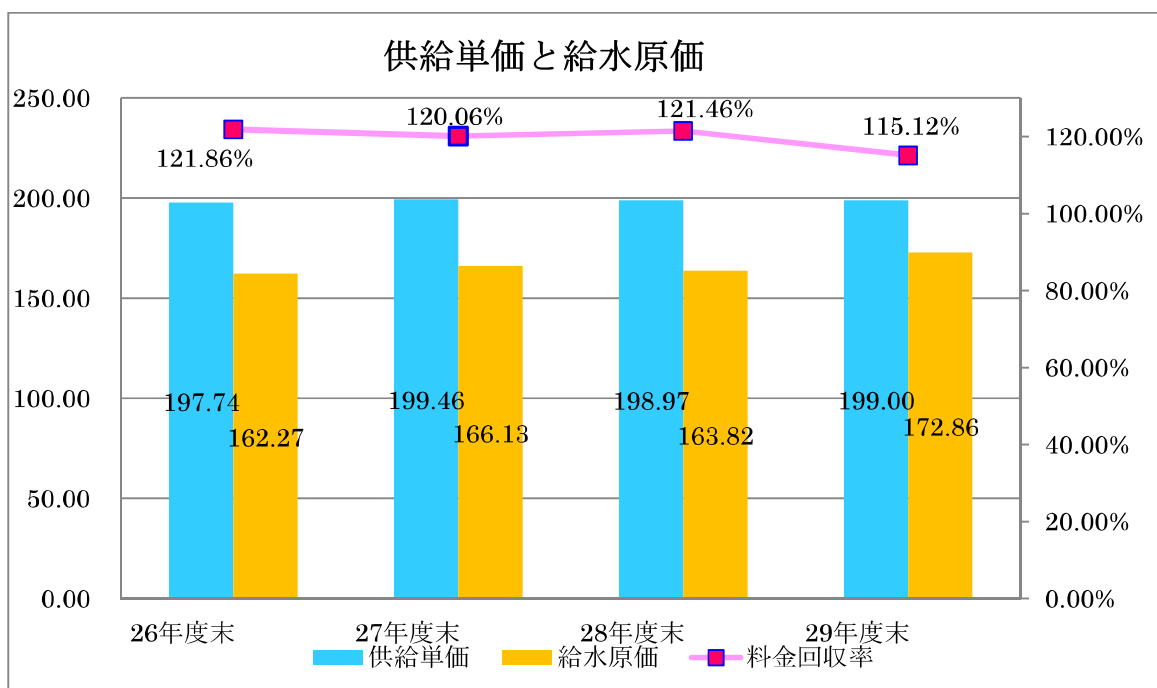
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
企業債残高	1,379,429 千円	1,283,973 千円	1,185,950 千円	1,088,191 千円



(4) 経営の指標

供給単価は、給水収益を年間有収水量で除して算出した 1 m³当たりの収益を表しています。また、給水原価は、有収水量 1 m³当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表しています。給水に係る費用を料金収入でどれだけ賄えているかを示す、料金回収率は 115.12%となりました。

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
供給単価(円/m ³)	197.74 円	199.46 円	198.97 円	199.00 円
給水原価(円/m ³)	162.27 円	166.13 円	163.82 円	172.86 円
料金回収率	121.86%	120.06%	121.46%	115.12%



経営の指標

経常収支比率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
113.87%	113.16%

【算式】

$$\frac{(\text{営業収益} + \text{営業外収益})}{(\text{営業費用} + \text{営業外費用})} \times 100$$

【説明】

特別損益を除く経常的な活動における収支を示した指標である。100%を超えて比率が高いほど経営成績は良好といえる。

累積欠損比率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
0.00%	0.68%

【算式】

$$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{(\text{営業収益} - \text{受託工事収益})} \times 100$$

【説明】

営業収益に対する累積欠損金の状況を表す指標である。累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められる。

流動比率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
581.53%	357.82%

【算式】

$$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$$

【説明】

短期債務に対する支払能力を示した指標である。100%を下回っていると不良債務が発生していることになる。流動負債には建設改良費等に充てられた企業債が含まれる。

企業債残高対給水収益比率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
93.12%	307.46%

【算式】

$$\text{企業債現在高} \div \text{給水収益}$$

【説明】

給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標である。

経費回収率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
115.12%	106.01%

【算式】

$$\text{供給単価} \div \text{給水原価}$$

【説明】

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準等を評価することが可能である。

給水原価(円/㎡)

美濃加茂市	類似団体平均
172.86	162.24

【算式】

$$\frac{(\text{経常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入益})}{\text{年間有収水量}}$$

【説明】

有収水量1㎡当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標である。

施設利用率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
74.77%	59.11%

【算式】

一日平均配水量÷一日配水能力

【説明】

一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標である。

有収率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
88.92%	87.91%

【算式】

年間有収水量÷年間配水量

【説明】

施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標である。

有形固定資産減価償却率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
41.90%	46.88%

【算式】

有形固定資産減価償却累計額÷
有形固定資産(償却対象資産)の帳簿原価

【説明】

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合いを示している。

管路経年化率(%)

美濃加茂市	類似団体平均
3.53%	13.39%

【算式】

法定耐用年数を経過した管渠延長÷
管路延長

【説明】

法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度合いを示している。

管路更新(%)

美濃加茂市	類似団体平均
0.57%	0.71%

【算式】

当該年度に更新した管路延長÷管路延長

【説明】

当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の更新ペースや状況が把握できる。
